

脈々 高蔵^{スピリッツ} 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「喜あれば之を分ち
憂あれば之を共にする」

大人しく耳を傾けているように見える生徒も、参考書の焼き増し授業に眠気をかみ殺し、おためごかしの説教に内心三猿を決め込んでいるのかも知れない。

「分かったか」と問えば「分かった」と答え、生徒は本音を語らない。

生徒の側に立ち、生徒の中へ入り、生徒の身にならない限りは、どんなことばも心をかすりはしない。

出来るだけ長命をして皆様の相談相手となると云ふ事が、私の仕事の大なるものの一つであります。 (「藪椿」12-19)